



11月例会 「黄金山」

～山頂付近景観支障木剪定伐採～

11月20日(日曜)

参加者 41名(会員 20名 地域 17名 学生 3名 一般 1名)

報告：1班 本廣 良一

伐倒準備も伐倒も安全最優先！！たくさんの支障木を伐り景観を取り戻しました。

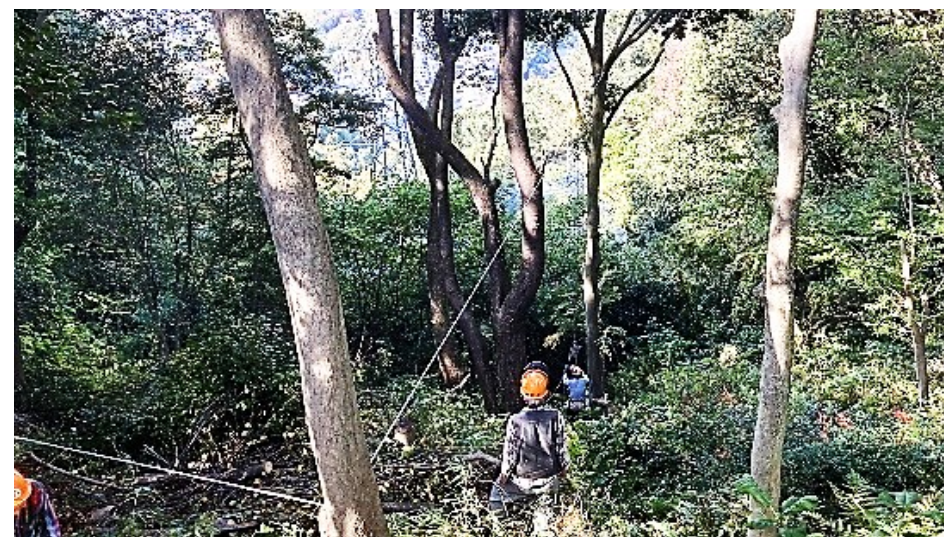


紅葉に彩られた黄金山、今回は「黄金山山頂エリア活性化推進協議会」「南区建設部地域整備課」「地元自治会の皆さま」と共に、黄金山山頂エリアの支障となる樹木を剪定伐採し、眺望・景観の改善を目的としています。

定刻9時から開会式が始まり、それぞれの代表の方々からご挨拶を賜りましたが、長年に渡りここまでやってきた思いとこれからの期待を感じました。引き続き山本理事長より挨拶と見勢井顧問より当日の作業について説明があり4班に分かれて作業を開始しました。

《A班》は山頂広場西側の景観支障木伐採。作業場所が急こう配の為滑りやすく、安全確保に時間をかけて作業をしました。サクラ2本、アラカシ、ソヨゴ、モミジ等を除伐。谷の下側には送電線鉄塔があり、径20㍓強のアラカシは鎌田さん特製のビッグショットでスローラインを打ち上げ、ロープとワイヤーで引き起こしながらのチェーンソー伐倒作業。作業後は谷が明るくなり鉄塔もよく見えるようになりました。

《B班》は展望台へ向かう道路途中、曲がり角付近のサクラやカシの除伐。サクラ1本、カシ2本、ハゼ



ノキ、枯れたカシ1本を除伐しました。サクラの上には電線があり慎重に作業を行い、午後から学生ボランティアが加わり小木の除伐作業をしました。

《C班》は展望台北側及び山頂広場南側法面の草刈りと景観支障木を伐採。D班は山頂広場東側斜面の草刈り、地元17名の方々と作業を行いました。

お昼は協議会よりカレーライス、おでん、バナナの差し入れがあり美味しくいただきました。大人数の受け入れ準備など改めて感謝申し上げます。

午後は1時から作業を開始し14時20分作業終了。道具の手入れ、ミーティングを行い安全監視員よりヒヤリハット無しの報告があり終了となりました。

学生ボランティアから～

「自然に触れ合うことができて楽しかった」

「今まで黄金山に上ったことはなかったので良い経験になった」

「このようなボランティアは初めて、木を切るのも初めて、良い経験になった」

「スニーカーで作業をしたので斜面で滑って困った」

「今までノコを使ったことが無かったので、木を倒すとき気持ちが良かった」

